

1	2	3
---	---	---

KT-010099-V

ラク2タラップ

副題: ステップ一枚の傾斜角度を合わせるだけで、タラップ全体のステップが一同に、合わさる新昇降機材

本技術は昇降を必要とする斜面・法面等の現場において、その様々な傾斜角度に応じてステップ一枚の傾斜角度を合わせるだけでユニット全体のステップを自在に調整でき、幅・長さにも各種設定を設けたアルミ合金製自在傾斜階段です。

KTK-070004-V

超音波ピーニング処理(UIT)工法

副題: 溶接部疲労強度向上技術

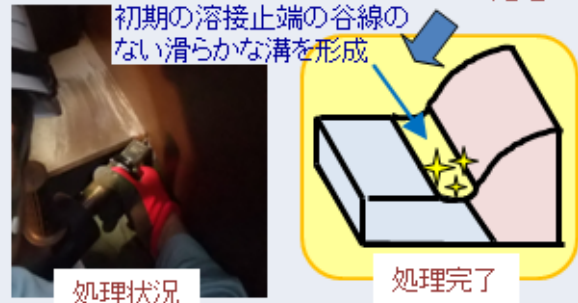
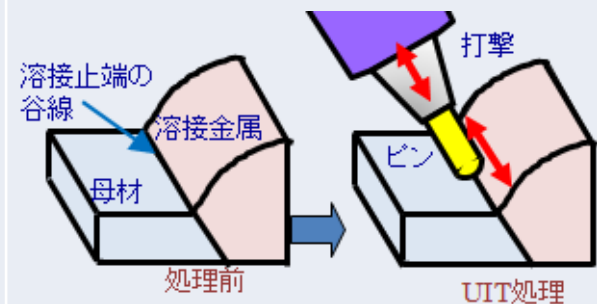
先端に曲率を持ったピンを超音波振動で加振し、対象箇所を連続的かつ高速に打撃、塑性流動で溶接止端部近傍の曲率増大を図ると共に大きな圧縮残留応力場を形成させ、疲労き裂発生を抑制し、結果的に溶接構造物の疲労寿命を延長する工法。

KT-000080-V

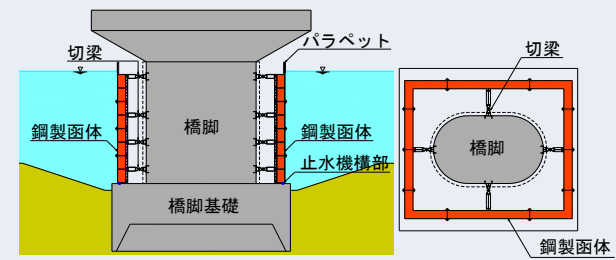
NDR工法

副題: 仮設用鋼製函体

河川や港湾の水中構造物に対し、事前に工場等で製作された転用可能な鋼製締切函体を用いて作業エリアをドライ状態で調査、補修、補強することにより、安全で高品質な施工を可能にする工法。



鋼製締切函体設置状況



模式図

平成26年度推奨技術概要一覧

4

KK-060042-V

FORCA(フォルカ)トウメッシュ工法
副題: ガラスクロス付き連続繊維FRP格子筋(トウメッシュ)を用いたコンクリートの剥落防止工法

- ・本工法は耐久性に優れたFRPメッシュ(トウメッシュ)をコンクリートアンカーで固定するだけの簡単なコンクリートはく落防止工法です。
- ・樹脂系接着剤やモルタルによる躯体との一体化を行わないため、ケレン処理や止水・導水処理が不要で、漏水や結露のある湿潤面でも施工可能です。
- ・幹線道路トンネル、鉄道トンネルの覆工剥落対策に特に効果を発揮します。

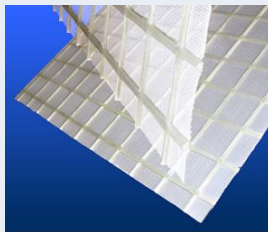


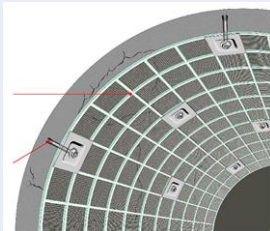
写真-1トウメッシュ



写真-2 トンネル覆工
全面取付例

トウメッシュ

アンカー



5

KT-090015-V

技術名: C3Dによる極浅水域での3次元測深技術システム

副題: 浅瀬水域での3次元測深・地形・構造物・水底面の底質性状(底質の硬軟)調査

河川横断測量や汀線測量では、測量船の入れない浅瀬や潮間帯など極浅水域については、トランシットとスタッフを用いた間接水準によって計測していたが、極浅水域までを連続して計測できるようにシステム開発したものが、「C3Dによる極浅水域での3次元測深技術システム」である。



極浅水域での
C3D計測・調査



橋梁下部での
C3D計測・調査

自動追尾式 TS

6

CG-100018-V

技術名: ヒュームフラップゲート
副題: 簡易型逆流防止ゲート

本技術は、ヒューム管に合せた丸形ゲート構造の採用により、製作重量を軽減し、ヒューム管に簡単に取り付け可能な構造としたもので、大幅に製作費並びに据付費が軽減されます。また、排水阻害や不完全閉塞の誘発をウエイト調整により解消します。



平成26年度推奨技術概要一覧

7

SK-070020-V

地上型3Dレーザスキャナ空間情報計測システム

副題: 非接触型の地形・地物・構造物等の計測システム

構造物や地形等に対しレーザを放射し、高密度な3次元座標データを取得できる。レーザを放射して計測するため、対象地への立入や対象物に接触せずに作業ができる。取得データをCADやGISで処理し、精密な3次元モデルを作成できる。更に断面図等の作成により、対象物の形状・空間量を詳細に再現することができる。



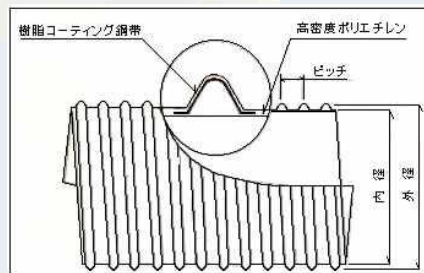
8

KK-980060-V

ポリメタルスーパー

副題: 強化金属樹脂複合排水管

大口径の集排水管としてヒューム管が最も使用されているが、非常に重い・コンクリート基礎が必要等、施工性の問題があった。また近年、腐食の問題もクローズアップされている。ポリメタルスーパーはこれらの問題を、特殊樹脂コーティングした亜鉛メッキ鋼帯(被覆鋼帯)を波付加工し、これを高密度ポリエチレン層で挟み込む構造として、高い外圧強度と軽量を両立した。更に、鋼を包み込む高密度ポリエチレンは、耐蝕性及び耐摩耗性に優れている。内面は平滑、外面は波付スパイラル状に形成された金属樹脂複合管である。



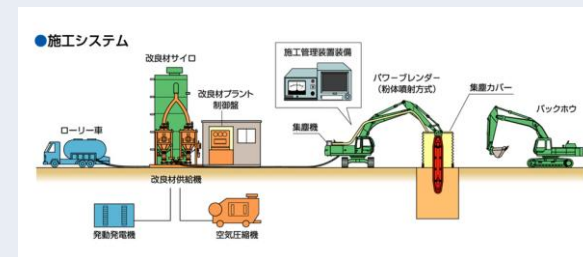
9

CB-980019-V

パワーブレンダー工法(粉体噴射方式)

副題: 浅層・中層混合処理工法

0.8~1.4m³クラスの改良型バックホウをベースマシンとし正転・逆転に対応する対称形状の攪拌翼を有するトレンチャー式攪拌混合機にて、改良材を空気圧送によりループ吐出し鉛直方向に混合攪拌しながら水平移動させることにより連続かつ均質な改良対を造成する工法です。



平成26年度推奨技術概要一覧

10

KK-000014-V

空中電磁法による地質調査
副題:ヘリコプターを用いた、地表下～150mまでの地盤の比抵抗3次元調査

空中電磁法は、電磁誘導現象を利用して地盤の比抵抗情報を取得する。対象地の上空から調査を行うため、現地への立ち入りや土地改変を伴わず、広域調査であっても、迅速、かつ効率よく地盤情報の取得が可能である。

また、既往の点・線的な地質調査結果では取得不可能な空間的地盤情報が得られ、縦横断方向のみならず、任意の断面解析により3次元的地盤評価が可能である。

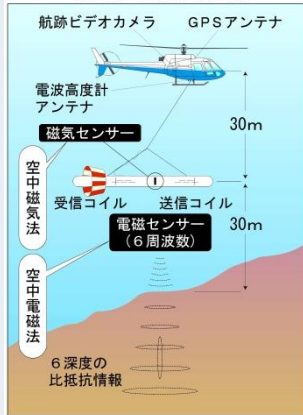
11

CG-040015-V

グリットシーバー工
副題:野芝付ジオテキスタイル多自然護岸工

ジオテキスタイルネット・不織布・野芝が一体化した製品を、直接堤体面に敷設し接続する河川護岸工法。野芝の活着前でも、施工直後から流速5m/sに対応する護岸を形成できます。従来工法に比べ、大幅なコスト縮減と工期短縮が可能です。

【測定概念図】



【測定状況】



生産状況

施工状況

